



西本 貴子 議員 (無所属)

地方自治法改正に伴う区政運営への導入について

新公会計の活用について

① 地方自治法等の一部を改正する法律が成立したが、② 内部統制に関する方針の策定および整備について、今後の導入計画は、③ 監査制度の強化について、区は監査報告に対する改善報告および公表には至っていない。改善を求める。

④ 議会において、決算が不認定された場合の議会への報告等について、対策は、⑤ 首長等の損害賠償責任の見直しについて、限度額を定められるようになったが、見解を。

総務部長 ① 行政評価や事務改善につながるため、業務の有効性や効率性の確保、法令等の遵守など内部統制のあり方を検討していく。② 監査報告に基づき、必要な措置を講じ、監査委員に通知し公開している。③ 決算不認定の場合は、法改正に従い、議会等への報告・公表を行う。④ 関連する政令が今後示される予定であり、当面は限度額の条例化を行う考えはない。

① 企業会計の考え方をとり入れた新公会計制度を導入するが、② 導入の目的は、③ なぜ東京都モデルを採用したのか。④ 複数の部が所管する事業が多くなる中、行政評価はどのように表現するのか。⑤ ストック情報整備の進捗状況は、⑥ 膨大な事業の日々仕訳は、職員が負担が多くなるのでは、⑦ 会計管理者 ⑧ 財務諸表を作成し、ストック情報やコスト情報を把握することである。⑨ 日々仕訳による会計処理等は、わかりやすさの点ですぐれている。⑩ 財務状況やコスト情報を行政評価シートにおいて開示する。⑪ 新たに道路、公園等のインフラ資産を加えた固定資産台帳を整備している。⑫ 新財務会計システム稼働後は作業が軽減され、事務量に大きな違いはない。

危機管理について

① 北朝鮮による弾道ミサイルの発射や核実験等が続いているが、② あらゆる有事を想定した対策を早急に整備する必要があるのでは、③ アラトへの理解が不十分である。④ 対策の周知が必要では、⑤ 避難シエルトの整備の推進を、⑥ 危機管理担当部長 ⑦ 区内に影響が及ぶ可能性がある場合は、品川区国民保護計画に基づき対応する。⑧ 防災訓練等で広く周知していく。⑨ 核シエルト整備の報道もあり、その動向を注視していく。

子ども・若者政策について

① 民間企業の力をかりて、障害者の就業環境の構築を。② 支援機関を避ける子ども・若者たちに対し、対人関係を学ぶ居場所の提供等が必要である。アウトリーチ的アプローチの視点を政策に導入しては、③ 子ども食堂は貧困対策として開設されたが、経済面だけではなく、社会から孤立してしまふ方への対策も講じるべきでは。

子ども未来部長

① 障害者就業支援センターでは企業に出向き、ジョブコーチや環境整備のアドバイスを行っている。② 困ったことがあれば相談できる拠点の設置を検討する。③ 家庭環境により子どもの将来が左右されることがないように、施策を進めている。



鈴木 博 議員 (自・未)

品川区の子育て支援について

① 平成28年から妊産婦や子育て家庭を対象にしたが、② ネットワーク事業がスタートしたが、③ 事業実績は、④ ネットワーク相談員は高度な専門性が要求されるが、どのよう研修を受けるのか。⑤ 医療機関等とのネットワークづくりについて、所見を。⑥ 病児保育を就業支援という観点だけではなく、子育て支援施設として位置づけるべきでは、⑦ 病児保育所等今必要なのは、医師により管理された施設の数を増やすことだ。見解を。

子ども未来部長

⑧ 病後児保育所は病気の回復期に限定されるため、利用者は多くないが、現状は、⑨ 病後児保育所は廃止し、病児保育所に転用しては、⑩ 厚生労働省のガイドラインで、登園許可証は必要ないとされている。感染症にもかわらず、保護者に提出を求められる保育所があるようだ。登園の扱いや感染予防の指導について、区の対応は、⑪ 保育所の一時利用や育児サービスの利用等ができるよう、子育て応援券の発券を要望する。

区長 ① 妊産婦ネウボラは妊娠届出数の約7割に当たる3千194名、子育てネウボラは1千92名で、前年の同時期を上回る相談実績である。② 妊産婦ネウボラ相談員は妊娠中の母体や心の変化等の研修を、子育てネウボラ相談員は臨床心理士の資格を持つスーパーバイザーが相談員の資質向上を図っている。③ 保健センターが医療機関と連携し、育児に不安を持つ母親に対して出産直後から支援している。

品川区の感染症対策について

① 接種率の低下が問題になっている麻疹・風疹混合ワクチン2期に対する接種勧奨について所見を。② 平成19年からおたふくワクチンの接種費助成を始めたが、③ 助成件数は、④ 助成を現行の1回から2回に増やしては、⑤ 風疹ワクチン

を1回接種したが妊婦健診で風疹抗体価が低いことがわかり、出産後に接種を希望する者には、区では助成されない。都に準じた対応を。⑥ 梅毒は、感染力が極めて強く、一般社会に蔓延する危機が迫っている。区の感染対策は、

品川区の教育について

① 若年者の梅毒流行に関して、中高生への性教育は性感染症の流行を抑える防波堤になる。性感染症の授業について所見を。② 校外の医療関係者による性教育の授業等は行っているのか。③ 新学期が始まり、不登校が増える時期だが、学校支援チームH.E.A.R.T.Sの活動内容は、

教育次長

① 9年生を対象に、主たる性感染症の特徴や予防の方法等を学んでいる。② 保健師を講師に招いた例がある。③ いじめや不登校等の諸課題に対し、医療や福祉、警察等と連携し、子どもや保護者への支援を行っている。

意見の分かれた議案等 (平成29年第3回定例会)

全議員の賛否については、ホームページに掲載しています。

件名	自・未 (11)	公明 (8)	共産 (7)	民・無 (5)	無品 (2)	ネット (2)	無所属議員 (1)(1)(1)	結果
平成29年度一般会計補正予算 (第59号議案)	○※10	○	×	○	○	×	○	可決
区立図書館条例	○※10	○	×	○	○	×	○	可決
平成28年度品川区一般会計歳入歳出決算	○※10	○	×	○	○	○	○	認定
平成28年度品川区国民健康保険事業 会計歳入歳出決算	○※10	○	×	○	○	○	○	認定
平成28年度品川区後期高齢者医療特 別会計歳入歳出決算	○※10	○	×	○	○	○	○	認定
平成28年度品川区介護保険特別会計 歳入歳出決算	○※10	○	×	○	○	○	○	認定

○…賛成、×…反対、(数字)は所属議員数 ※数字は議決にかかった議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。